
NEWS RELEASE (2025 年 10 月 2 日) 告知依頼

第 13 回稲盛アカデミー公開シンポジウム

「稲盛和夫著『生き方』から明らかになる稲盛哲学の本質」

報道機関 各位

平素より本学の報道に関しては大変お世話になっております。次について、告知方お願いいたします。

【内容】

稲盛アカデミーは稲盛哲学をコア・バリューとして社会貢献活動に取り組んでおります。本アカデミーで 13 回目となるシンポジウムでは、テーマを「稲盛和夫著『生き方』から明らかになる稲盛哲学の本質」とし開催いたします。

前半では、稲盛和夫(北京)管理顧問有限公司 曹 岫雲 董事長、株式会社サンマーク出版 植木 宣隆 取締役会長をお迎えし、ご講演をいただきます。後半では、報告の後、稲盛氏の秘蔵の映像を上映し、登壇者全員でディスカッションを行います。

【日時】 令和 7 年 12 月 14 日(日)13:00-16:00(開場 12:30～)

【場所】 鹿児島大学稲盛会館 キミ&ケサ メモリアルホール

※稲盛記念館、稲盛アカデミー棟とは異なりますので、ご注意ください。

【対象】 どなたでもご参加頂けます。

(先着 現地 200 名、オンライン 100 名※定員になり次第締め切らせていただきます。)

【申込方法】 事前申し込みが必要です。下記URLよりお申込みください。

<https://forms.office.com/r/LRfZpaFsKd?origin=lprLink>

【申込み〆切】 12 月 11 日(木)

【参加費】 無料

【その他】

※車両での入構はできません。公共交通機関をご利用ください。

【問い合わせ先】

鹿児島大学稲盛アカデミー

TEL:099-285-3751

MAIL:inamori@kuas.kagoshima-u.ac.jp

稲盛和夫著『生き方』から 明らかにになる稲盛哲学の本質



日時 2025年 **12月14日（日）**
13:00～16:00（開場：12:30～）

会場 鹿児島大学郡元キャンパス稲盛会館
キミ&ケサ メモリアルホール

鹿児島大学は地域社会の発展と活性化に貢献する大学であり、稲盛アカデミーは稲盛哲学をコア・バリューとして社会貢献活動に取り組んでおります。本アカデミーで13回目となるシンポジウムでは、テーマを「稲盛和夫著『生き方』から明らかにになる稲盛哲学の本質」とし開催いたします。

前半では、稲盛和夫(北京)管理顧問有限公司 曹 岫雲 董事長、株式会社サンマーク出版 植木 宣隆 取締役会長をお迎えし、ご講演をいただきます。後半では、報告の後、稲盛氏の秘蔵の映像を上映し、登壇者全員でディスカッションを行います。

多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

参加費無料

先着：現地 **200** 名
オンライン **100** 名

（事前申込制）

締切：12/11（木）

お申込みはこちらから



<https://forms.office.com/r/LRfZpaFsKd?origin=lprLink>



プログラム

13:00 開会挨拶
山口 明伸（稲盛アカデミー長）

（1）報告 『生き方』を中心とした稲盛和夫の出版活動は今
橋浦 佳代 氏（京セラ株式会社 執行役員
稲盛ライブラリー館長兼フィロソフィ推進部長）

（2）講演 『生き方』は、なぜ多くの人々の心に届いているのか
曹 岫雲 氏（稲盛和夫(北京)管理顧問有限公司 董事長）

（3）講演 『生き方』は、いかにして人々の手に届けられたのか
植木 宣隆 氏（株式会社サンマーク出版 取締役会長）

14:35 休憩（15分）

（4）報告 稲盛は『生き方』制作にいかに取り組んだのか
粕谷 昌志（稲盛アカデミー 特任教授）

（5）映像 私は『生き方』で何を訴えたのか 稲盛 和夫 氏（映像）

（6）ディスカッション「稲盛哲学は多くの人々の心をとらえ続けられるか」
コーディネーター：武隈 晃 氏（鹿屋体育大学 監事、稲盛アカデミー 客員教授）

16:00 閉会挨拶

アクセス

【市 電】郡元方面行き「唐湊」、または「工学部前」下車1分

【市営バス】10・11・20番線「法文学部前」または「鹿大正門前」下車2分

※ ご来場の際は、公共交通機関をご利用下さい

※ 車両での入構はご遠慮ください



お問い合わせ

国立大学法人鹿児島大学稲盛アカデミー

Tel:099-285-3751

Email:inamori@kuas.kagoshima-u.ac.jp

お知らせ

京都賞特別企画展を開催します

京都賞は、京セラ株式会社名誉会長の稲盛和夫氏により設立された稲盛財団による、科学や文明の発展と人類の精神的深化高揚に著しく貢献した人々に贈られる国際賞です。

稲盛記念館では、令和7年11月4日～11月28日に、第40回（令和7年）京都賞受賞者の紹介や、稲盛和夫氏の足跡パネル、大学時代の卒業論文などを展示しています。

